



だより



R7.9.30 Vol.21

6年生たち！

先日の修学旅行、3校合同での実施でした。校長も各校から参加しているのですが、「先生が最年長なんだからこの旅行団の団長は先生でしょ？」と半ば無理やり役を仰せつかりました。(当番校が団長していたのになあ…笑)立場上、自校の児童だけでなく、全体を見ていました。そこであることに気づきます。

真穴っ子たち！食が**太い**！『もりもり食べる』ではなく、『ばくばく食べる！』がぴったり！！と思うほどよく食べていました。当たり前ですが、食べることが命の基本です。それをしっかり行える真穴っ子。挨拶や返事の声もしっかり出ますし、行動もアグレッシブ！子供のうちはしっかり食べることが、全ての活動のエネルギーになります。我々大人だって、空腹では力が出ませんよね。これからもばくばく食べて欲しいです！（笑）

見えない努力

『誰にも見せない涙があった〜♪』私の大好きな曲！「栄光の架橋」の一節です。

世界陸上！野本選手の活躍、素晴らしかったですね。「才能があるっていいなあ。」と思いながらテレビを見ていたのですが、翌日の新聞に『世界一恵まれないアスリート』そんな記事がありました。もちろん持って生まれた天賦の才はあるのでしょう。が、見えない日々の努力が世界の舞台への扉を開いてくれたのではないのでしょうか。

1週間後に迫った市内陸上運動記録会！もともと足の速い子供も当然いますが、その子たちも含めて、日々の練習に地道に取り組んだ子供たちが活躍してほしいと思っています。努力は必ず実るとは限りません。が、努力したという経験は、人生のどこかで花をつけると信じています。

四方山話真穴 ver2. 其の二十一(あんぱん)

朝の連ドラ「あんぱん」が佳境に入ってきました。この四方山話を便りに掲載する頃、ドラマはもう終了した後かもしれません。アンパンマン！掲載初期はあまり人気のない話だったようで、当時の子供たちも「アンパンマンよりスーパーマンがいい！」「あんぱんよりアイスが食べたい！」そんな反応が多かったようです。画面のテロップの西暦を見ているとまさに私が小学生になったばかりの頃です。確かに仮面ライダーやウルトラマンが私にとってのヒーローであり、アンパンマンには、あまり興味はなかった気がします。

我が子ができて一緒にアニメを見ている時も幼児向け番組くらいの認識でした。戦争についての学びを進めていく中で、アンパンマンや主題歌に込められたやなせたかしさんの思いに触れる機会があり、私の中のアンパンマンがそれまでとは全く別のものになっていきました。学校で習った歴史だけで私の学びが止まっていたら、アンパンマンも子供向けキャラのままであり、主題歌に心を動かされることもなかったでしょう。

私の親は戦争を知っている世代です。戦時中のことを聞くことも時々ありました。私はもちろん知らない世代。今の子供たちは私からさらに2世代近く後の世代。何もしなければ、風化のスピードは加速するでしょう。なぜか私の琴線に触れてくるこのドラマ。私自身に孫ができたことも今の私の思いに影響しているのかもしれませんが、**命は引き継がれているのです**。引き継がれるはずだった多くの命が、身勝手な正義で絶たれてしまったことを学び続け、次の世代に引き継がなければならない！あんぱん見ながら思う今日この頃です。

----- 切り取り線 -----

便りの感想や学校への要望等ありましたら、お聞かせください。今後の学校経営・運営に役立てていきたいと思ひます。